

スクールボランティア



平成22年7月20日(火) 第1号

盛夏の候、保護者並びに地域の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろより、本校の教育活動並びに児童の安全な生活確保のためにご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、今年度も学校支援ボランティアとして様々なご支援をいただいておりますが、突然の依頼では時間の都合もつけにくく、協力したくてもできない等のご意見をいただきました。そこで、現在ご協力いただいている、もしくはすでにご協力いただいた学校支援ボランティア活動等の紹介を目的として、「スクールボランティア」を発刊することにしました。

ぜひ、ご一読いただきご意見・ご感想等をお寄せいただければと思います。

●学校支援ボランティアとは？

◇ 子供たちの教育のために役に立ちたいという熱い思いをもって、学習活動や環境整備の活動を支援するボランティア活動です。

ボランティア活動5つの留意事項

① 無理は禁物

できる人が、できるときに、できることを支援していきます。

② 「子供や学校の力になりたい」と思ったときがチャンス

他人から強制されるものではありません。自発的な意志に基づいて行われます。

③ 子供をはぐくむ基本的なルール

子供や先生と一緒に活動し、学校をよりよくしていく活動です。守秘義務や子供たちを守るためのルールを遵守することが必要です。また、子供の手本となるような倫理に基づいた行動が求められます。

④ みなさんのこれまでの経験を子供たちに

ボランティア自身の経験や専門性を生かす活動です。

⑤ 地域と学校、住民と子供、住民同士の絆をより一層深めるために

地域コミュニティを活性化する方法の一つです。

もし、やってみたいと思われましたら、以下の担当までご連絡ください。

【学校支援ボランティア地域本部】

電話番号 022-773-8901

メールアドレス ichishou@sendai-c.ed.jp

担当 市名坂小学校

教頭
教務主任
地域連携担当

木村 茂
伊藤 公志
佐藤 一知 麻生 信行



年度当初

今年度は4～6月に活動。

◇ 生活・学習サポーター（仙台市教育委員会「小1プロブレム」対応事業）

新入学児童の学習及び生活支援を目的としたボランティア活動。今年度は給食の時間を中心にお手伝いをいただきました。仙台市教育委員会事業のため、各学級1名という制約があります。4月上旬～6月上旬の長期間にわたって、10名の方々に支援いただきました。ありがとうございました。

月別

毎年開催される定期的な学校行事の支援活動。随時、依頼。

◇ 行事支援ボランティア

	主な行事等	期間	主な内容	支援ボランティア
1	交通教室（低）	4月中旬	定点監視、安全確保	PTA会員有志
2	運動会	5月下旬	接待、不審者対策、他	おやじの会、PTA会員有志
3	体力調査	6月上旬	テスト補助員、他	PTA会員有志
4	集団下校訓練	6月中旬	引率支援	PTA会員有志
5	親子除草作業	8月下旬	校庭等除草作業	PTA会員有志、地域の方々
6	美化活動	10月下旬	校内清掃活動	PTA会員有志
7	学芸会	11月上旬	不審者対策、他	PTA会員有志
8	美化活動	3月上旬	校内清掃活動	PTA会員有志
9	校外学習	随時	地区内校外学習時の安全確保	PTA会員有志

通年

4月より、継続活動中。

◇ お話ボランティア

読書タイムの時間に実施している「読み聞かせ」のボランティア活動。現在、PTA会員有志の方々15名が登録。

◇ 防犯ボランティア（学校ボランティア防犯巡視員）→PTA地域安全委員会の方々

児童の生活圏の安全確保（主に登下校時）を目的としたボランティア活動。現在、地域の方々やPTA会員有志の方々も募集中。PTA地域安全委員会18名が登録。

●こんな学習支援ボランティアを募集する予定です！！

「学習支援ボランティア」とは、日常の授業時間中の支援活動を目的としています。すべての教科、すべての授業時間をお願いするわけではありません。本校並びに多くの学校での実践例を以下に挙げますので、参考にいただければと思います。なお、募集は夏休み以降行う予定です。

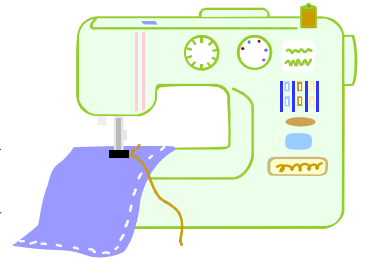
【実践例】

① 「九九聞き取り隊」

2学年算数科の「九九」の学習支援です。担任が30数名の児童一人一人について「九九」の朗読を聞いているのが現状です。4人の学習支援ボランティアがいると、5倍の練習量が確保でき、定着度も自ずから増します。

② 「ミシンサポーター隊」

高学年の家庭科の学習です。ミシン糸がからんだり、針が折れたりとなんらかのトラブルが発生します。担任一人での対応だけの場合、予定の授業時数を大幅に上回ってしまうのが常です。ところが、学習ボランティアが入った場合、作業効率が増すだけでなく、トラブル数そのものも激減します。



③ 「〇つけ隊」

主に、算数科の習熟学習として行われるドリルやプリント学習時の支援活動です。学級担任一人による「〇つけ」だと非常に時間がかかり、子供が並んで待っている時間の方が学習している時間より長くなってしまうことさえあります。高学年になれば、解答をはりだして「自己採点」も可能ですが、他人に見てもらい「よくできているね」「すごいね。」などと声かけをされると、学習意欲はさらに高まるものです。